

パソコンと外国青年招致事業に驚嘆

町長 学校訪問

1月22日から5日間にわたる町長の学校訪問が行われました。

短い時間ながら全クラスの授業参観と教職員との意見交換を行いました。

南条小学校では全児童と話しをしながらの楽しい給食となりました。

特に中学では今年度パソコン教育の開始、外国青年招致

事業(AET)と大きな新規事業がありました。しかしながら両事業とも、新規とは思えない程の充実ぶりに町長も驚嘆している様子でした。

教職員との意見交換では、「町長訪問を増やしてほしい」という声もあり、町と学校が一丸となった教育が推進されていることを実感したようでした。

生を対象に、眼科、歯科など5科目の審査の結果、次の児童生徒が表彰されました。

深田友紀さん第一位

健康優良生徒で表彰

今年度の八匝地区健康優良児童生徒の審査が1月31日、八日市場市保健センターで行われました。

小学校6年生と中学校3年

(敬称略)

- 小学校男子 鈴木啓文(白浜)
- 女子 早川佳子(白浜)
- 女子 平山景子(日吉)
- 中学校男子 宇井 孝
- 女子 深田友紀

海匝郡市豚共進会で

優等賞

2月7日、旭市の東総食肉センターで第9回海匝郡市豚共進会が開催され、作間内の向後眞一さん、傍示戸の鈴木

茂昭さんが優等賞を受賞しました。

この共進会は、海匝管内から40組80頭の肉豚が集められ日頃の成果が競われました。当町からは5組10頭が出品されました。



▲楽しそうな授業を参観(日吉小)

サケの卵、水槽で元気にふ化

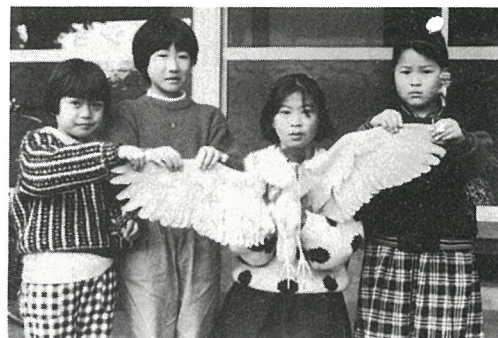
町内の各小学校に、1月24日サケの卵が配られました。

小学校ではサケ日誌を毎日つけながら、「元気なサケが生まれてほしい」と卵を観察していました。2月11・12日の連休でほとんどがふ化し、日誌には、子供達の感動の言葉が綴ってありました。

南条小の川口教頭先生は、「卵がかえるとところは、生命の神秘に触れることができ、本当によかった。水槽の前を通ると何かにつけ、水槽をのぞいている姿が見られ喜んでいきます。」と話してくれました。

「ゴイサギ」君怪我

2月6日、小学生が下校時に排水路にいる大きな「ゴイサギ」を見つけました。頭と背が黒、羽がグレーで、口ばし、足は黄色、羽を伸ばすと70cmにもなります。口ばしのつけ根に怪我をし、ぐったりしているところを伊藤昇さん



▲ゴイサギを見つけた小学生

が自宅に連れて帰りました。通信員 伊藤 昇(尾垂六区)

無病息災を願い御大般若



2月8日虫生地区で御大般若

お神楽で安産祈願

2月11日篠本2区公民館で、58名参加しお神楽が行われました。この行事は、30年も前(江戸時代)から続いており安産を祈願するものです。神主のお払い、玉串の宝奠の式後、歌、手踊りで楽しみ

ました。通信員 行方良子(篠本二区)



▲列をつくりお子安様へ